慣用句(中級)プリント31（ルビつき）

月　日　名前 _____

問1　「目を光らせる」の意味はどれですか？

1. 相手の様子をうかがって、不安で落ち着かない
2. 相手の欠点を見つけて、わざと無視する
3. 物事の細部まで注意を向けて確認する
4. 不正やミスがないか、厳しく注意して見張る

問2　「顔が立つ」の意味はどれですか？

1. 人前に出て活動に参加する
2. 非常に頭の回転が速く、鋭い判断力がある
3. 世間に対して面目が保たれる
4. 考えが凝り固まっていて融通がきかない

問3　「手がかかる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. この機械は修理にとても手がかかる。
2. 手がかかるので、手袋をはめて作業した。
3. 重い荷物なので、手がかかって運ぶ。
4. 寒さで手がかかるので、ポケットに入れた。

問4　親の（　）を盗んで遊びに行く。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 耳
2. 目
3. 手
4. 鼻

問5　「手を尽くす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 手を尽くして、重い荷物を持ち上げた。
2. 手を尽くして、疲れたので休むことにした。
3. 手を尽くして、部屋のすみずみまで磨いた。
4. 迷子を探すために、あらゆる手を尽くした。

問6　「目を配る」の意味はどれですか？

1. 相手の過ちを厳しく指摘して見張る
2. 相手の欠点を見ないふりをして許す
3. 不安を感じて、落ち着きなく視線を動かす
4. 全体に注意が行き届くように、あちこちを見る

問7　「歯が立たない（相手が強くてかなわない）」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。
2. 歯みがきをサボっていたら、歯が立たなくなった。
3. 転んで口をぶつけたので、歯が立たなくなった。
4. 虫歯が痛くて、歯が立たない。

問8　「二束三文」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は二束三文の金貨を大切に保管している。
2. 古い雑誌を売ったが二束三文にしかならなかった。
3. 二束三文の荷物を二つの束に分けた。
4. 二束三文の値段で高級車を買い取った。

問9　彼は（　）に衣着せぬ物言いで有名だ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 口
2. 喉
3. 歯
4. 舌

問10　「水を向ける」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 怒っている友人に、水を向けて冷やそうとした。
2. 花が枯れないように、植木鉢に水を向けた。
3. 彼が話しやすいように、それとなく水を向けた。
4. のどが渇いたので、コップの水を向けて飲んだ。

問11　「折り合いをつける」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は誰とも折り合いをつけず、一人で走った。
2. 紙を丁寧に折り合いをつけて箱を作った。
3. 折り合いをつけて、新しい服を買いに行った。
4. 話し合いをして、両者の間で折り合いをつけた。

問12　将来の（　）を描く。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 赤写真
2. 青写真
3. 黒写真
4. 白写真

問13　何度も頼みごとをするのは（　）が引ける。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 気
2. 手
3. 目
4. 足

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます